

第 33 回新しい資本主義実現会議 提出資料

LINE ヤフー株式会社 代表取締役会長
川邊 健太郎

第 1 パート「人への投資・多様な人材の活躍」

人口オーナスな日本においては、「人への投資・多様な人材の活躍」を引き続き強く推進していくべきであると考えます。特に、生産性の高い分野への人材の移動が当たり前に起こり、雇用の流動性を高めることが日本経済全体の生産性向上につながるよう、仕組みを作っていくことが重要です。

他方、昨今の生成 AI の進化スピードはすさまじく、基礎資料 p9-10 にもあるように、この生成 AI の進化によって、労働移動せざるを得ない人材も出てくることは明らかです。

私たちは、コロナ禍を経て、エッセンシャルワーカーの重要性を改めて認識しつつ、その人手不足にも頭を悩ませることになりました。一刻も早く、エッセンシャルワーカーの人手不足を補完すべく、生成 AI の登場により労働移動せざるを得ない人材も含めて、国による支援のもと、デジタル技術や AI 利活用に関するリ・スキリングを実施すべきです。

そして、そのリ・スキリングの成果を生かし、「アドバンスト・エッセンシャルワーカー」として、社会的に重要な仕事を担っていただくことに強く賛同いたします。また、エッセンシャルワーカーの賃金上昇を含む処遇改善といった実質的な課題の解決も進めていただきたいと思います。

最後に、私たちの生活になくてはならない自治体や行政機関における、生産性向上や賃上げにもしっかり取り組んでいただきたいと思います。

第 2 パートのテーマであるスタートアップ企業の創出・育成と合わせて、日本の労働市場全体の新陳代謝をさらに促進させていくことを期待します。